

# 来月10、11日「大館アメッコ市」

## 「ジャンボ枝アメ」華やか

2月10、11日に開かれる大館市の伝統行事「大館アメッコ市」を彩る「ジャンボ枝アメ」の制作が市内で行われている。10日は同市の秋田職業能力開発短期大学校で作業が行われ、1、2年生や教職員計53人が参加。ミスキの木20本に色とりどりのあめ玉を飾り付けた。

同校での作業は、大館アメッコ市の実行委員会事務局を置く市観光協会の職員3人を講師に迎えて実施した。使用したのは実行委が育てた高さ約2・5〜3メートルのミスキ計20本。セロハンに包まれたピンクや緑、黄色のあめ玉を、学生が手際よく針金で枝にくっつけた。使用したのは実行委が育てた高さ約2・5〜3メートルのミスキ計20本。セロハンに包まれたピンクや緑、黄色のあめ玉を、学生が手際よく針金で枝にくっつけた。



木にあめ玉を飾り付ける学生

## 秋田職能短大生、飾り付け

「かぜ封じ」などと記された縁起物の札も飾り付けて完成。学生たちは記念撮影をして笑顔を見せていた。

同校電子情報技術科1年の嶋崎勝太郎さん(18)は「木全体としてあめの色のバランスを取りながら飾り付けるのが少し難しかった。アメッコ市は訪れたことがないので、どんなふうに展示されるか楽しみ」と話した。

ジャンボ枝アメは、会場のおおまち八幡公通りなど市内各所に展示する予定。秋田職業能力開発短期大学校のほか、市民サークルや小学校など12団体が約60本を作る計画だ。

市観光協会の嶋山喜満専務理事は「アメッコ市はこの日にあめを食べると風邪をひかないといわれている冬の風物詩。ぜひたくさんの方に来場してほしい」と話した。

今年のアメッコ市は2年ぶりに開催された昨年と

完成させたジャンボ枝アメとともに写真に納まる学生



同規模かそれ以上の出店を見込んでおり、市内の菓子店など15店ほどがあめを取り扱う予定。このほか、山から下りてきた神がわれに基づく「白ひげ大神巡行」や「大館曲げわっぱ太鼓演奏」「秋田犬パレード」といったイベントも催される。

(間杉大旗)